

事業所名:チャイルドハートひがなが

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		1	スペースは狭いが、学習室、プレイルームに分けてあるため安全面の配慮ができています。	80%		16%
	2	職員の配置数は適切であるか	4		2	急遽スタッフが休みになると送迎面で人材不足になることがあるが、連携を取り合い対応するようにしている。	64%		32%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		2	出欠カードがあり自分で貼ることで確認する意識ができています。	64%		32%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			狭さはあるが、掃除は毎日行い、整理整頓に心掛けている。	100%		
業務改善	5	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		1	ミーティング時に情報共有し認識できるようにしている。	80%		16%
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		1	保護者からの意見をいただいた箇所については、周知を行い改善できるように努めている。	80%		16%
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページで公開している。	100%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		1	外部評価を受けた時には、職員に周知し改善できるようにしている。	80%		16%
	9	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	6			内部、外部研修に参加できる時には参加するようにしている。	100%		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			スタッフ間で話し合い、スモールステップで達成できるような計画を立案している。	100%		
	11	子どもの状態と適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			統一したアセスメントツールを使用し、保護者からの情報、児童の様子を元に作成している。	100%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			個々の特性を把握し職員間で話し合いながら計画書を作成している。	100%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			計画書に沿った支援を基に、その時に必要な支援を考えながら行っている。	100%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			スタッフ間で話し合って活動内容を決めている。	100%		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5		1	決まった活動の繰り返しになる時もあるが、新しい活動も調べながら取り入れるようにしている。	80%		16%
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		1	個別支援計画書に基づきながら状況に応じて活動を行っている。	80%		16%
	17	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の行われる支援内容や役割分担について確認しているか	3	1	2	職員間での打ち合わせができていない日もあるため、時間を決めて話し合い確認をする工夫が必要。	48%	16%	32%
	18	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6			支援終了後の記録記入時に気になった点等を話し合っている。	100%		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			記録は必ずとるようにし、気づいた点は改善、対策をとるように努めている。	100%		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			半年に1度は職員間でモニタリングを行い、計画の見直しを検討している。	100%			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			サービス担当者会議の前に職員間で話し合いを行い、意見をまとめて参加している。	100%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		1	連携をして話し合いを行い、相談支援事業所を通じて情報を頂いている。	80%		16%
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当者なし。			

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当者なし。			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			定期的に担当者会議を行ったり、直接訪問等で情報共有を図っている。	100%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		1	学校に訪問して支援内容や様子について情報を提供したりしている。	80%		16%
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			併用利用している児童は、関係機関を交えて定期的に話し合いを行い、情報共有や助言を受けている。	100%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		2	交流は行っていないが、公園などで他の児童と接する機会はある。	64%		32%
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	4		2	子ども部会の研修などには参加するようにしている。	64%		32%
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎時やモニタリング時に話し合い、子どもの状況や課題について共通理解を持てるようにしている。	100%		
保護者への説明責任等	31	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	4		2	相談に応じて一緒に対応を考えており、必要時には相談支援員にもお伝えし、ペアレントトレーニングの紹介を行っている。	64%		32%
	32	運営規程、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5		1	契約時に重要事項説明書を通して丁寧に説明するようにしている。	80%		16%
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			個別支援計画書を作成し保護者に説明を行い、同意をいただいて支援を行っている。	100%		
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			定期的に話し合いを行い、相談に応じて助言を行っている。	100%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		3	保護者参加型の活動を取り入れ、保護者同士の連携をとれる機会を提供できるように努めている。	48%		48%
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合は迅速かつ適切に対応しているか	6			いつでも相談できるような関係作りに努め、相談があった場合には迅速に対応できるように努めている。	100%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		1	毎月通信を発行し、活動の様子や情報等を発信している。	80%		16%
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			個人情報については鍵付きロッカーに入れて取り扱いは十分注意している。	100%		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			電話や連絡帳を通じて保護者様と連絡をとっている。	100%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			地域参加型の活動プログラムを考え、地域の方々と交流を図る機会を作っている。	100%		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			各種マニュアルを作成し事業所に掲示しているが、保護者様に周知できていないところもあるので周知できるように努めていく。	100%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			各種災害に応じた避難訓練を行っている。	100%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4		2	契約時のアセスメントや保護者様の情報から状況を確認している。	64%		32%
	44	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			保護者様を通じて情報をいただき対応している。	100%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		1	作成までできていない時があるので、作成するようにしていく。	80%		16%
	46	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			委員会を設立し、研修に参加、周知を行っている。	100%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		1	保護者様に説明し、ガイドラインに沿って対応している。	80%		16%

事業所名:チャイルドハートひがな

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3		もう少し広いスペースがあればいいが、安全面の配慮を重視し活動している。	48%	48%	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3		人員がぎりぎりになる時もあるが、子どもの安全を第一に職員の配置を考えている。	48%	48%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	1	バリアフリー化がなされている。	48%	32%	16%
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	3	3		話し合いを行い、業務改善できるように努めている。	48%	48%	
	5	保護者向け評価表、アンケートなどを利用して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	1	保護者向け評価表やアンケートでいただいた意見については話し合い、周知するようにしている。	64%	16%	16%
	6	この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	3	3		ホームページで公開している。	48%	48%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	2	外部評価を受けた時には、周知を行い業務改善につなげている。	48%	16%	32%
	8	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	6			内部研修、外部研修共に参加できる場合は参加するようにしている。	100%		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			職員間で話し合いを行い、課題を分析し個別支援計画書を作成している。	100%		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		統一したアセスメントツールを使用し、保護者様からの情報を元に作成している。	80%	16%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		行事、イベントの立案は話し合い決めている。	80%	16%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		固定化しないように内容を考えている。	64%	32%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	6			話し合いを通して課題を考え、遊びの中で楽しく達成できるように努めている。	100%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			子どもの状況をスタッフ間で話し合いながら、個別活動、集団活動を通して達成できるような計画書を作成している。	100%		
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の支援内容や役割分担を確認しているか	3	3		打ち合わせができていない日があるため、時間を決めて話し合いを設ける。	48%	48%	
	16	支援終了後職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6			記録を書く際に、気づいた点は話し合い、共有をしている。	100%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			記録は毎回とっており、支援の検証、改善に努めている。	100%		
18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			半年に一度はモニタリングを行い、個々の評価、計画書の見直しを行っている。	100%			
19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2		ガイドラインに沿った活動を行っている。	64%	32%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		サービス担当者会議の前には話し合いを行い、意見をまとめて参加するようにしている。	64%	32%	
	21	学校との情報共有(年間計画、行事予定、下校時刻等の確認)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			下校時間のプリントをいただいで対応している。何かあった場合には電話連絡している。	100%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケア児なし。			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		保護者様から聞くことはあるが、直接はできていないので、必要な場合は連絡し情報共有できるように努めていく。	48%	48%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	2	4		現在は該当する児童がいないので、必要時には情報提供していく。	32%	64%	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			研修を受ける機会があれば参加するようにしている。	100%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	3	活動の機会は設けていないが、公園遊び等で他の児童と交流する機会はある。	32%	16%	48%
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4		参加する機会があれば参加するようにしていく。	32%	64%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか	6			帰りの送迎時やモニタリング時に、子どもの状況や課題について話し合い、共通理解に努めている。	100%		
29	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関する情報提供を行っているか	3	2	1	相談に応じて一緒に対応を考えており、必要時には相談支援員にもお伝えし、ペアレントトレーニングの紹介を行っている。	48%	32%	16%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5	1		契約時に説明している。	80%	16%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	6			相談があった時には職員間で話し合いをし、助言、支援を行うようにしている。	100%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1	保護者参加型の活動を取り入れ、保護者同士の連携をとれる機会を提供できるように努めている。	32%	48%	16%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			保護者からの苦情や意見については、職員間で話し合い対応するようにしている。	100%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			定期的に通信の発行、インスタグラム、ブログの更新を行っている。	100%		
	35	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報については鍵付きロッカーに入れて取り扱いには十分注意している。	100%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		電話や連絡帳を通じて保護者様と連絡をとっている。	80%	16%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等移地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1		地域参加型の活動プログラムを考え、地域の方々と交流を図る機会を作っている。	80%	16%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		各種マニュアルを作成し、事業所に掲示しているが保護者様に周知できていないところもあるので、周知できるように努めていく。	80%	16%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		各種災害に応じた避難訓練を行っている。	80%	16%	
	40	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			委員会を設立し研修に参加、周知を行っている。	100%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			保護者様に説明しガイドラインに沿って対応している。	100%		
	42	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		保護者様を通じて情報をいただき対応している。	48%	48%	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2		作成まではできていないことがあるので、作成していく。	64%	32%	